

## 令和3年度 事業計画

昨今の世界的な新型コロナの感染拡大により人の行動に大きな制約を受けながらも、テレワークやオンライン会議など ICT を活用した様々な工夫が導入され、社会活動が維持されてきた。今後は、リモートや ICT をキーワードにして社会全体の仕組みが変わっていくと予想される。

国土交通省は、従来から財政困難や少子高齢化をはじめとする下水道の様々な課題に対して、事業の質と効率性の向上を図り下水道の持続と進化を実践する取り組みとして、i-Gesuido を推進している。今回のコロナ禍はこの動きをさらに促進し、ICT 活用が加速化して、情報の重要性がますます高まって行く。

一方、近年の浸水被害や各地で発生する地震被害に対応するため、国は主要施策として国土強靱化に積極的に取り組むこととしている。これに呼応し、下水道事業においてもポンプや貯留施設の耐震化・耐水化等が進められている。

このような状況の中で、下水道事業の ICT 化が進み事業運営に占める割合が増してくると、施設の強靱化だけではなく、情報においても強靱化の一環として確実性やセキュリティ向上のための対策が必要となってくる。

当協会では、下水道事業の「強靱化」に貢献するため、災害に強く下水道事業の ICT の基盤となる下水道光ファイバーの普及を図っていく。

### 1. 調査研究

#### (1) 調査研究受託

下水道光ファイバーは、高品質・高信頼のネットワーク構築が可能で、公共性の高い下水道事業における ICT を支える基幹インフラである。

さらに、水位計をはじめとする各種の計測器や光給電機能等を組み合わせた応用技術により、下水道事業への貢献の可能性が広がっている。

調査研究受託は、これらの技術を向上させ蓄積することで下水道光ファイバーの普及促進を図る当協会の根幹的な事業であることから、幅広い研究テーマの確保に向け国及び自治体に積極的に働きかける。

### 2. 業務の普及・拡大

#### (1) 国の施策への対応

国は、新型コロナ対策として非接触・リモート型の働き方改革によるテレワークやオンライン会議等を強く要請しており、5G 等 ICT の基幹テクノロジーを活用したインフラ分野の DX (デジタル・トランスフォーメーション) を

推進することとしている。

下水道においても、電子台帳等インフラのデジタル化・BIM/CIM 活用に加え、少子高齢化による執行体制や財政の脆弱化に対応するため、ICT を活用した事業の効率化、広域化や集中管理の必要性が提唱されている。

さらに、国土強靱化として浸水被害や地震等の頻発・激甚化に対応した施設の耐震化・耐水化が急がれており、ICT を支える通信基盤の強靱化も必要になってきた。

これらの状況の中、高速・大容量かつ信頼性が高く、災害にも強い下水道光ファイバーの活用が不可欠であり、5G 等通信基盤の強化等の新しい動きも踏まえ、国の指導を得ながら下水道光ファイバーの普及促進に努める。

## (2) 自治体への普及活動

### ① 自治体の下水道事業運営効率化に向けた提案

自治体の限られた財政事情や職員の減少という厳しい状況の中、ICT を活用した下水道事業の効率化等が求められている。

国土交通省の ICT 推進施策となる i-Gesuido においても広域管理や運転管理の効率化・自動化を進めることが提案されていることを受け、国との情報交換を緊密に行いながら、自治体への提案活動を行っていく。

### ② 情報の信頼性向上に向けた提案

下水道は住民生活に直結するインフラとして通常時のみならず災害時にも機能の確保が求められる。機能確保には確実な情報伝達が不可欠なため、自治体に対し情報の信頼性向上に向け下水道光ファイバーの提案活動を行っていく。

### ③ 活用提案の対象フィールドの拡大

下水道光ファイバーは高速大容量で災害に強く専用的に使用できる利点を有しているため、この特性を生かして下水道事業以外での活用も期待できる。

このことを踏まえ、昨年度業務普及委員会で、他分野での活用方を整理し資料の作成を行ってきた。

本年度は、委員会での作業を完了し、作成した資料をもとに提案活動を行っていく。

## (3) 普及拡大に向けた課題の抽出及び具体的な促進策の実践

従来から、当協会では下水道光ファイバーへの理解不足や技術的な知識の欠如が普及の障害にならないよう、技術マニュアルの整備、下水道展への出展、講習会開催等により、下水道光ファイバーの周知と技術的な支援活動を行ってきた。

今後は、さらに普及拡大の障害となっている事柄の掘り起こしを行い、対策を実践していく。

### 3. 広報

#### (1) 「下水道展 2021 大阪」への出展

下水道事業への ICT 導入が不可欠となる中、下水道事業者へ情報の重要性と下水道光ファイバーの有用性をアピールするため、適切なテーマの設定と展示内容の精査を行い、下水道展への出展を行う。

#### (2) 機関誌の発刊

令和 3 年度のトピックなどを題材に SOFTA45 号の発刊を行う。

### 4. 技術の普及・向上

#### (1) 技術講習会の開催

新型コロナウイルスの感染予防策を講じながら、技術の普及・向上のため技術講習会を開催する。

あわせて昨年度の講習会開催中止を踏まえて、リモート講習会のしくみづくりを検討する。

#### (2) 技術資料の整備